

## 「家に帰りたい」という気持ちを大切に

緩和ケア認定看護師

はら なおこ  
原 直子

皆さまは、入院した経験がありますか？病気の治療のためとは言え、病院での生活というのは、思っている以上に不自由なものです。病院の看護師が言うのもおかしな話ですが、必ずしも食べたいものが食事として出てくるとも限りません。また、食事時間や消灯時間なども決まっているため、これまでの生活様式や生活リズムとは違い、入院中は我慢しなければいけないこともあります。病状が安定し、体力が回復し始めたら、「住み慣れた我が家に帰りたい」「自宅で療養したい」と思う気持ちが湧いてくることは、とても自然なことです。このような気持ちは、多くの方がお持ちなのではないでしょうか。大切な家族と一緒に、住み慣れた自宅、そして自分の部屋で、自分らしく過ごしたいと思うことは当然のことです。しかし、「家族に負担をかけてしまうから」「日中一人になるから心配」など、なかなか「帰りたい」気持ちを言い出せない場合もあります。また、家に帰るにあたり不安なこと、心配事は必ずと言っていいほどあります。「在宅療養」の主役は、患者さまとご家族ですが、すべてをご家族だけで頑張る必要はありません。それをサポートするプロの職種はたくさんあります。安心して自宅で療養できるように、ケアマネジャー、訪問診療を行う在宅医、訪問看護師、ホームヘルパーなど在宅支援チームと病院が連携し、皆さまをサポート致します。

「家に帰りたい」または大切な家族を「家に帰したい」という気持ちをお持ちの時は、病棟看護師や主治医または皆さまの相談室の相談員にぜひご相談ください。

